

先端機器を導入し、ナビゲーションシステムのプランニングで難易度の高い人工関節置換術において良好な手術成績を収める



(左) ナビゲーションシステムで高精度の人工関節置換術を実現 (上) 広々としたリハビリテーション室で患者さんに合わせたリハビリを行う



情熱医療 整形外科
フュージョンドクター Professional Doctor

社会医療法人 高清水
高井病院

高井 哲郎 副院長

たかい てつお
1977年、京都府立医科大学卒業。同年、奈良県立医科大学入局。78年、松阪中央総合病院整形外科。81年、東大阪市立総合病院整形外科。84年、奈良県立奈良病院救急科。85年、高井病院副院長。日本整形外科学会認定整形外科専門医

「人工関節置換術にしろ、脊椎手術にしろ、すべて患者さんのニーズに応じて行っています」と高井副院長

高度な人工関節置換術を行いリハビリテーションも充実

「整形外科疾患の症例数は、2014年1月～12月で1137例に及びます。難易度の高い高度手術である人工関節置換術が34例、脊椎手術が61例(内頸椎20例、腰椎41例)となっています」と高井病院の高井哲郎副院長は話す。

同院では、人工関節置換術において6年前からナビゲーションシステムを導入している。CT(コンピュータ断層撮影法)画像を立体的に組み合わせ、プランニングし、人工関節の位置やサイズなどを決定する。「患者さんの関節と、ナビゲーションシステムの画面を確認しながら、術前の計画通りに人工関節置換術を行います。これにより精度の高い正確なインプラント設置が可能

になり、良好な手術成績が得られます」リハビリテーションも充実し、理学療法士27名、作業療法士9名をはじめ、総勢48名のスタッフを擁する。回復期リハビリテーションの病床は50床を数え、急性期はもちろん、回復期も含めて一貫してフォローする体制が整っている。

2014年8月に本館がオープン タニタ食堂で予防医療を推進

高井病院は、2014年8月に新しい本館がオープンしたばかりだ。CT3台、MRI(核磁気共鳴画像法)3台、PET(陽電子放射断層撮影法)1台、CT2台(骨密度測定器(DXA)1台などの先端機器を取りそろえ、手術室は4室から8室に拡充し、クリーンルームも3室完備。「また、循環器内科と心臓血管外科によるハイブリッド手術室も完備しています。当院は、整形外科の単科病院ではなく、術中や術後に起こりうる致命的な合併症、心筋梗塞、肺血栓症などに対しても、すぐに治療を行うべくバックアップできる体制を確立しています」

2015年2月25日には、健康的なメニューで知られるタニタ食堂が関西に先駆けて西館(旧本館)にオープンした。火・土曜日の14～15時には、同院の管理

栄養士がマンツーマンでのカロリー指導も行っている。「救急医療に力を入れていますが、救急の患者さんは日ごろの食生活に問題があることが少なくありません。当院では、予防医療を重視してタニタ食堂を開設しました。太った方の場合、人工関節の寿命も短いといわれていますし、徹底した食事管理により、予防医療を押し進めながら地域医療に貢献していきます。患者さんは年だからとあきらめないで、確実な成果を上げられますから頑張ってください」と高井副院長は、高井病院の取り組みを語る。

2014年8月に新しい本館がオープン



奈良県天理市蔵之庄町470-8
TEL:0743-65-0372 駐車場450台
アクセス:JR・近鉄 奈良駅 天理駅(標本経由)の奈良交通バスで、蔵之庄南バス停下車 徒歩5分
JR桜井線・帯解駅より徒歩12分
JR・近鉄郡山駅、筒井駅より車で約10分
病床数:307床 (一般257床、回復期リハビリテーション50床)
診療科目:消化器外科、整形外科、内科(消化器内科)、脳神経外科、泌尿器科、産科、放射線科、皮膚科、循環器内科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、神経内科、眼科、産婦人科、小児科(全20科)
診療時間:9:00～12:00/18:00～20:00
副院長診察日:月、水、金、土曜日の午前(第3土曜日を除く)
<http://www.takai-hp.com/>

